

2023	年度						
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月	
算数	6	東書		176	13	12	~ 12

大単元(題材名)	12. データの調べ方		
中単元(曲名)			
主領域/領域/内容の区分	D データの活用		
関連する道徳の内容項目			

**【到達目標】**

知・技	○ 代表値としての、平均値、中央値、最頻値の用語とその意味がわかる。
	○ ドットプロットの用語とその意味を知り、データをドットプロットに表したり、ドットプロットから中央値、最頻値を求めたりできる。
	○ データを度数分布表に表したり、読んだりできる。
	○ 度数分布表を柱状グラフに表し、データ全体の特徴を読み取ることができる。
	○ あるテーマのいろいろなグラフ等から、その特徴を読み取ることができる。
思・判・表	○ 度数分布表や柱状グラフを見て、データの傾向や特徴を捉え、説明することができる。
	○ 複数のデータの特徴を、統計的な考察をして比べ、説明することができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 統計的な処理について考え、考えたことについて友だちと話し合い、結論が妥当かどうか見直そうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

**【評価規準】**

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 代表値としての、平均値、中央値、最頻値の用語とその意味を理解している。	D(1)ア(ア)(イ)(ウ)
	○ ドットプロットの用語とその意味を知り、データをドットプロットに表している。	D(1)ア(ア)(イ)(ウ)
	○ ドットプロットから中央値、最頻値を求めている。	D(1)ア(ア)(イ)(ウ)
	○ データを度数分布表や柱状グラフに表し、データ全体の特徴を読み取っている。	D(1)ア(ア)(イ)(ウ)
	○ 男女別年齢別の人口のグラフ等から、特徴を読み取っている。	D(1)ア(ア)(イ)(ウ)
思・判・表	○ 度数分布表や柱状グラフを見て、データの傾向や特徴を捉え、説明している。	D(1)イ(ア)
	○ 複数のデータの特徴を、統計的な考察をして比べ、説明している。	D(1)イ(ア)
主体的に学習に取り組む態度	○ 度数分布表や柱状グラフから、データ全体の特徴を分析し、結論をわかりやすく説明する工夫をしている。	
	○ 身の回りの事象の問題解決を、統計的な問題解決方法を進んで取り入れて取り組んでいる。	

**【関連する既習内容】**

学年	内容
4年	折れ線グラフと表
5年	平均
5年	帯グラフと円グラフ

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	数学的活動
1.問題の解決の進め方①	2	○ 1組が8の字跳び大会で優勝できるかを、データから予想することを通してデータの比較のしかたを考える。 ○ データを比較するときには、平均を使うことがあることを知る。 ・ 平均値の用語とその意味を知る。	(1)ア, ウ (1)ア
1.問題の解決の進め方②	1	○ ドットプロットの用語とその意味を知り、ドットプロットに表したり、読んだりする。 ・ 最頻値(モード)の用語とその意味を知る。	(1)ア
1.問題の解決の進め方③	1	○ データを度数分布表に整理する方法を理解し、読み取る。 ・ 階級, 階級の幅, 度数, 度数分布表の用語とその意味を知る。	(1)ア
1.問題の解決の進め方④	1	○ 柱状グラフ(ヒストグラム)の用語とその意味を知り、データを柱状グラフに表したり、読んだりする。	(1)ア
1.問題の解決の進め方⑤	1	○ 代表値として使われる中央値について考える。 ・ 代表値, 中央値の用語とその意味を知る。	(1)ア
1.問題の解決の進め方⑥	1	○ データの特徴や傾向に着目し、問題に対する結論を考え、判断する。	(1)ア, ウ
1.問題の解決の進め方⑦	1	○ 新たな課題を設定し、データをもとに問題解決する。また、統計的な問題解決方法を理解する。 ・ 新たな課題に対してデータを根拠にして、その理由を明確にする。	(1)ア, ウ
2.いろいろなグラフ	1	○ 男女別年齢別の日本の人口のグラフや、既習のグラフを組み合わせたグラフの読み方を理解する。	(1)ア, ウ
まとめ①	3	○ 「いかしてみよう」で、身の回りの事象について、学習した内容を活用して問題解決する。	(1)ア
まとめ②	1	○ 「たしかめよう」で、データの活用の基本的な学習内容を理解しているかを確認し、それに習熟する。 ○ 「つないでいこう算数の目」で、問題に注目し、データを用いた解決方法を考える。	